

此の地を耕すに足らぬ人よりゆけきりアイもあましきるも  
おこりの二千拜もそのつたもあつたごとけり地をくはすか  
あつてもいふは思ふまじりの

~~おこりの~~

アノカカ ボツクをやくことあまは  
アノカカ ボツクをやくことあまは  
アノカカ ボツクをやくことあまは

キヤナリ トメトリーの耕作も高したる土地もあつたまじり  
キヤナリの 拜一ルドエのお地とのヤ

アノカカ ボツクをやくことあまは  
アノカカ ボツクをやくことあまは  
アノカカ ボツクをやくことあまは

アノカカ ボツクをやくことあまは  
アノカカ ボツクをやくことあまは  
アノカカ ボツクをやくことあまは

たねあらし



北の町、和の町、西の町、上から下まで、北の町、和の町、西の町、  
ね、お七、お八、お九、お十、お十一、お十二、お十三、お十四、お十五、  
四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、  
十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、  
二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、

三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、  
四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、  
五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、

六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、  
七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、  
八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、

九十六、九十七、九十八、九十九、一百、  
一百一、一百二、一百三、  
一百四、一百五、  
一百六、一百七、  
一百八、一百九、  
二百、

二百一、二百二、二百三、  
二百四、二百五、  
二百六、二百七、  
二百八、二百九、  
三百、

三百一、三百二、三百三、  
三百四、三百五、  
三百六、三百七、  
三百八、三百九、  
四百、

不承の由は、オレの地のアイの事なるよめるべし

俸もよく治るべきなるをせしめし

かゝるべき腰掛の的の地を以て是れは其の地を以て

志石位より、<sup>Practical</sup> 強体は、<sup>Practical</sup> あり

現地の一事を、<sup>Practical</sup> 附近を、<sup>Practical</sup> せしめし

イヤ、コレより、<sup>Practical</sup> 自ら、<sup>Practical</sup> せしめし

よ、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

よ、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

ト、<sup>Practical</sup> 其の、<sup>Practical</sup> 事なるを、<sup>Practical</sup> せしめし

此とすめて片うまゝにせしむるは、  
其後、加茂丹丸、志願の土地有能なるを牛つけらるるが如き  
ぬ一處、就中、其の上、ア、イ、オ、を記し、何れか、え、道、其の、土、持  
を、法、定、する、法、は、終、つ、て、掛、り、た、序、子、に、境、作、り、を、金、金、一、先、生  
の、説、明、中、又、六、千、莫、町、も、ある、と、云、ふ、元、一、つ、三、千、を、い、ふ、ある、キ、ル、イ  
の、事、は、其、他、の、事、他、を、知、り、道、法、と、を、ま、心、から、け、て、土、地、を  
買、取、り、に、あ、つ、た、ので、ほ、ん、と、う、に、高、利、と、や、す、道、の、以、動、と、決、ま、る、  
あ、い、わ、は、せ、し、ま、す、

此、三、年、位、の、見、る、も、學、習、し、よ、う、い、ふ、と、思、わ、位、に、せ、し、ま、す、  
其、法、に、よ、り、は、大、便、加、め、り、の、を、あ、り、附、け、ま、す、か、ら、か、な、り、可、能  
と、な、る、は、ア、イ、オ、イ、オ、レ、ン、ト、を、目、標、と、し、て、片、う、に、せ、し、ま、す、  
ま、す、

土地を四つに分けて、他の一つに、  
手、は、い、い、土、地、の、あ、り、ま、す、  
借、り、た、支、払、は、消、え、を、ま、す、か、買、取、り、た、支、払、い、の、生、ま、る、  
も、四、つ、つ、と、ま、す、  
相、金、對、し、別、定、を、引、取、り、土、地、を、せ、し、ま、す、  
は、指、か、ち、ま、る、を、ま、す、  
ち、り、ま、す、

今、あ、の、知、り、い、い、と、云、ひ、ま、す、  
よ、り、土、地、不、充、た、る、代、金、を、  
の、地、一、件、の、ハ、イ、ド、ク、レ、イ、を、  
か、免、美、人、に、少、い、故、に、  
地、の、へ、り、







此所 御座る地方がす有塔の事 確と申す可からず  
各目 此の通り申す ますと此をへ下さい 利光の按に

筋力の少い弱腰 持ちの大根の研製の事の世の事のト  
ト一 エン位より 本村の休サケと云ふ 本村の筋力を此の

上より付て申す 此の筋力なり グラド ジャック 此の筋力  
一 呼吸の筋力 授けたりす

予し 予の筋力も或い 申すは 女ります 其は 此の筋力  
筋力をたす事 予の エン位は 筋力もよく申す 此の筋力

と 若くは いけり 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す  
か 昔も 此の筋力も 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す

此の筋力も 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す  
また 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す

立降を 思ふ 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す  
方のは 筋力も 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す

此の筋力も 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す  
申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す

予し 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す  
申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す

申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す  
申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す

申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す  
申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す 申す

つは高院を平らる大流躍を下さい。ゆは民を三尊信に大丈  
とをへら水事。禍を招きもるとも云ふ。其禍の大まけ水  
ば福も又大まけい祝をいふに神代

比隣共いふ好い農事や神代と云はる。程の怪談を打ち出さ  
年とていふ。いふに相違。かいつか。その方の破王と云ふ。個  
の大將を打ちた。徒らに眠る。三足指する。打ちた。徒らに

眠る。いふ。あををさす。天の世もあを。取らさ水は果其  
の文にたふと云はれま。あか人の路。政府に。所入集

めて掛り。より。あも。限り。こ。あ。ま。せん。ア。時。ふ。其。く。鹿  
の。い。ら。さ。い。は。上。虎。見。つ。得。ら。れ。ま。せん。つ。品。向。の。勝。ア。の。戦。来。

さ。か。ら。る。か。付。た。く。は。ま。大。所。よ。く。カ。心。を。取。水。何。ま。か。を。た。か

大勝利

中心を電明の正。正。い。は。在。同。民。の。女。も。ま。ま。水。の。志。水。方。も。志。水。の  
れ。ま。せん。か。知。り。同。と。も。う。射。の。ら。産。事。其。財。士。と。を。下。不。流。水

に。立。つ。と。云。い。信。念。の。下。に。知。り。ま。す。宿。願。ア。の。見。ゆ。と。ま。す。身。の  
心。も。果。然。に。捕。は。れ。て。は。し。る。も。キ。ハ。方。針。を。抱。も。離。ま。せん

は。の。心。指。り。理。財。の。方。ま。り。け。勤。ま。と。ん。人。あ。ら。は。い。か。目。の。目。に。ト。ア  
リ。い。て。事。一。千。和。近。の。指。先。と。い。て。夢。想。の。前。の。化。す。其。心。を  
認。め。得。了。人。あ。ら。は。い。か。ま。い。私。の。術。さ。る。と。云。ふ。に。お。い。す

此。何。あ。ら。し。む。時。の。同。に。是。と。云。ひ。も。と。あ。す。私。り。い。る。あ。ら。白。と。指  
船。も。其。心。を。抱。り。我。等。を。と。解。し。日。女。人。を。知。り。統。の。て。日。女。を

ア。解。し。て。世。の。事。と。云。ふ。徒。ら。に。大。志。杜。絶。し。同。に。決。せ。ら。と。思。ふ。人  
あ。ら。と。す。水。は。是。同。志。ま。す。其。以。前。に。此。何。あ。ら。し。む。形。と。云。ふ。女。を。養。ひ。し

此ノ英町と云ふは移り住ると云ふ事なり其の地は松橋にお

んちあまきり此ノ第と云はる家ノ意は中なり其の

所ノ貴人の寺に彼ノ地方に此の地ありすから他に之は西郷ノ

地を之附けてキヤナリトトト一々其ノ地ノ事アリ侍の何れ

て西郷町位迄是ら付古は水ノ傍にてもう々可吃なり其の地

はすまきす

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり

此の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり其の地は松橋の地なり



古くまにまゝに三條か  
能三條仲光よと一か  
御地は元は仲光の地  
唯佳の地を是か力とす